

令和2年度学校関係者評価結果

日立メディカルセンター看護専門学校

1 経過

本校では「人々のために奉仕する豊かな人間性の向上と社会に貢献できる看護師の育成」を目指してきたが、今の3年生が卒業する、令和4年3月をもって2年課程の看護師養成は閉校となる。

新たに「人々の生命と尊厳を基盤とし、人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行うための専門知識・技術・看護実践能力を有し、社会の多様な価値観に対応できる専門職業人としての倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会に貢献できる看護師の育成」を目指した看護専門学校となる。そのためには、学校評価を年1回（4月）に実施し公開する。

2 評価者

運営委員（外部人材） 6名

3 評価時期

令和2年4月から令和3年3月まで

4 評価方法

6月8日の運営委員会において学校運営自己評価の結果を説明し、意見を求めた。

5 外部人材の評価

学校で行った自己評価は、全体として妥当な評価として了承する。

「地域との連携」項目において、3年課程の学生が地域のイベントに参加、また主体的に企画を行う等がみられなかった。新型コロナウイルス感染拡大によりイベントは全て中止となったが、環境が改善した際には地域との交流を行えるよう対応を望む。

令和2年度 学校運営外部評価表

項目	評価
学校運営	学校の運営状況を共通理解し、各自が学校運営の実態を理解して教育理念のもと職員が業務を遂行できるよう情報提供を行う。
管理運営・財政	自己評価についておおむね同意
教育課程・教育活動	令和4年度にカリキュラムが改訂されることを受け、教育課程の変更実施に向けて情報共有を行う。 また、2年課程閉校に向けた業務を実施する。
入学・卒業対策	自己評価についておおむね同意
学生生活への支援	今後イベントの参加や校内での課外活動が行われる際には、学生に活動費として助成金を補助する。
施設設備	自己評価についておおむね同意
教職員の育成	実習指導又は講義ができる教員を採用する。 新人教員教育は強化する部分だが、既存の教員についてはスキルアップが求められる。
広報	本部及び学校の職員が一丸となって募集定員の確保に努める。引き続き近隣の高校を複数回訪問し、学校の広報を行う。
地域との連携	夜間定時制の2年課程では、学生は昼間勤務のため地域との連携は評価が低かった。3年課程では昼間活動できるため、コロナ禍が落ち着いたら自主的な課外活動やボランティア活動が実施できる事を望む。